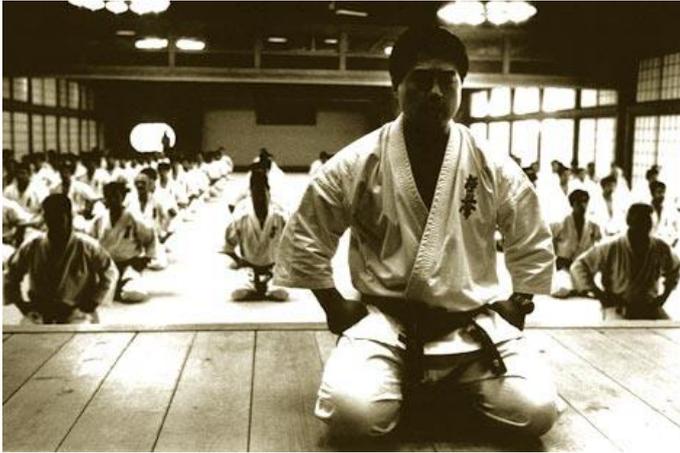


極真会館の紹介



【空手は武道である】

すべての武道は、いずれも厳しい自己修練を課し、その奥義を極めることによって自己の人格形成、すなわち人間としての正しい道を極めることを目指すものです。極真空手は、この武道本来の意味を全うすることを本義に置いています。また直接打撃制、無差別による実践的空手を通し、相手の痛手を知ることによって、人間本来のやさしさを知るという理念も、極真の信ずる道です。



極真会館山口支部道場所在地【本部連絡先 0836-33-1527】

	住 所	稽古日時	責任者
宇部道場	宇部市上宇部西沖田 2 5 3 2 - 1 1	火(19:00~21:00) 土(19:00~21:00)	河岡 博實 河岡 晶俊
宇部少年部	同 上	火(17:30~18:45) 土(17:00~18:30)	河岡 晶俊
健康カラテ	同 上	日(10:00~12:00)	河岡 博實
下関道場	下関市大字垢田 1339-1 垢田体育館	月(19:00~21:00) 金(19:00~21:00)	河岡 博實 河岡 晶俊
小野田道場	山陽小野田市日の出 3 丁目 7 - 17 伊藤仙ビル 3 F	水(19:00~21:00) 土(19:30~21:00)	河岡 晶俊
秋穂道場	山口県山口市秋穂二島長浜 山口県漁協協同組合山口支店 2 F	水(19:00~20:30)	外堀 徹雄
防府道場	防府市田島 1 3 7 2 - 3 田中ビル 2 F	火(19:00~21:00) 金(19:00~21:00)	外堀 徹雄
山口道場	山口市葵 2 丁目 三輪クリニック 4 F	月(19:00~21:00) 金(19:00~21:00)	河岡 晶俊
光道場	山口県光市大字光井 1 9 4 1 - 1 光市総合体育館	土 (19:00~21:00) 水 (19:00~21:00)	近藤 勝矢 芝崎 登
岩国道場	現在休止中		
長門道場	長門市 ルネッサ長門	月(20:00~21:30) 金(18:30~20:00)	池本 哲治
浜田道場	浜田市下府町 7 2 8 - 4	月・木(19:00~21:00)	慈地 学

このチラシ持参の上入会された場合、入会金50%オフ!



+ 日本赤十字社 災害義援金チャリティー 第56回 オープントーナメント

全日本空手道選手権大会

主催 / 国際空手道連盟 極真会館 館長 / 松井章奎

協賛 / KAATSU JAPAN (株) シダックス株式会社

後援 / 日本赤十字社 公益財団法人 全日本空手道連盟 スポーツ庁 メディアエイト ワールド空手

2024年11月30日 土 12月1日 日 東京体育館

(観覧チケット完売中) ■ 11月30日 (土) & 12月1日 (日) RRS席 40,000円 (2日連続し各1階アリーナ最前列) ■ 11月30日 (土) A席 4,000円 (2階自由席) ※観覧席ご観戦の方も全日本初日のチケットを購入ください。(4歳から)
 ■ 12月1日 (日) 2階SS席 14,000円 (2階南側中央5列目まで) アリーナ席 9,000円 (1階アリーナ席) 2階S席 9,000円 (2階中央寄り後席) A席 9,000円 (2階後席)
 ※価格は全て税込価格です。観戦には4歳からチケットが必要です。当日券はプラス1,000円になります。(12月1日のA席のみ当日券8,500円)

NOVEMBER 30TH & DECEMBER 1ST, 2024 @ TOKYO METROPOLITAN GYMNASIUM



- 1・とあ
- 2・無級
- 3・上段返し蹴り
- 4・山口県大会：3位
- 5・全国大会で優勝したいです！
- 6・厚南小 1年



- 1・ゆいと
- 2・10級
- 3・返し蹴り
- 4・山口県大会：準優勝
- 5・頑張って板割ります！
押忍！！
- 6・高千帆小 1年



- 1・かいと
- 2・5級
- 3・後ろ返し蹴り
- 4・全中国空手道選手権大会：準優勝
山口県大会：準優勝
- 5・来年の国際親善大会入賞します！
- 6・小羽山小 3年



- 1・こはく
- 2・7級
- 3・上段返し蹴り
- 4・山口県大会：4位
- 5・これからも頑張ります
押忍！
- 6・小羽山小 5年



- 1・ひょうま
- 2・7級
- 3・ローキック
- 4・全中国空手道選手権大会：準優勝
山口県大会：3位
- 5・あきらめずに全力を出す！！
- 6・小羽山小 5年



- 1・しぶちよう
- 2・五段
- 3・膝蹴り
- 4・全日本ウエイト制大会 4位
全中国空手道選手権大会：優勝
第13回山口県大会：優勝
2017 国際親善 マスターズ優勝
- 5・不言実行！
- 6・極真会館 山口支部長



- 1・ひめり
- 2・7級
- 3・返し蹴り
- 4・山口県大会：組子 準優勝
- 5・これからも試合で
頑張ります！おす！
- 6・恩田小 3年



- 1・ゆめり
- 2・5級
- 3・前蹴り
- 4・山口県大会：組子優勝・型3位
- 5・もう試合で負けたく
ないです！
- 6・恩田小 3年



- 1・ゆうり
- 2・3級
- 3・横蹴り
- 4・全中国空手道選手権大会：優勝
山口県大会：組子優勝・型準優秀
岡山県大会：優勝
広島県大会：3位
- 5・これからも空手頑張ります！
- 6・恩田小 5年



- 1・そお
- 2・2級
- 3・返し蹴り
- 4・全中四国大会：組子3位
山口県大会
型・組子 W優勝
- 5・もっと強くなりたい！
- 6・西宇部小 6年



- 1・ゆうと
- 2・4級
- 3・下段返し蹴り
- 4・広島県大会：組子 準優勝
山口県大会：型 3位
山口県大会：型 優勝
- 5・応援よろしくお願いします！
- 6・神原中 1年



- 1・きう
- 2・4級
- 3・下段返し蹴り
- 4・全中四国大会：組子 優勝
山口県大会：組子準 優勝
- 5・あきらめない！
- 6・高千帆中 1年

極真会館 山口支部 河岡道場
参加生徒紹介

1・なまえ / 2・現在級 / 3・得意技 / 4・戦績 / 5・一言 / 6・学校・役職

【第39回全山口県空手道選手権大会レポート】 令和6年10月6日



猛烈な暑さが少し和らいだ令和6年10月6日(日)に山口県宇部市武道館において39回目を数える全山口県空手道選手権大会が、関係各位の協力の元に開催された。また、今大会は東京より郷田最高顧問にご来山頂き、華を添えて頂いた。2週間前に香川県大会、同日に大分県大会が開催されたこともあり参加人数は昨年より少なかったが、九州地区からは、福岡西支部、中国地区からは山口支部・広島支部・島根松江道場の3支部・1直轄道場から選手が集まり、覇権が争われた。



午前中には型の予選と決勝、午後からは相手の試合が行われた。習い始めて間もない選手も多かったので、初級・上級の部で競われた。型の部は本年度改訂された項目に基づいた採点で行われた。この大会に向け日々の道場で意識を高め稽古した演武を選手のみんが披露した。本来であれば、まだ習得していない型にも関わらず大会にチャレンジした生徒も多数いた。結果がついてきたもの、不本意な結果で終わった者もいたが、今大会に向けて稽古したこときっと無駄にならないし、今後の糧となると思います。今大会で目を引いたのは山口支部浜田分支部所属の小学3、4年の柳井田政宗くん。県本道場から3時間も離れた道場のため、合宿等の少ない稽古の機会を上手に活用し高得点で初優勝を果たした。また一般の部では甲乙つけがたい演武であったが、4姉妹とも型の演武には定評のある秋穂道場の野村こころが優勝をもぎとった。

昼休憩を挟み、午後からは相手の試合であった。相手の大会は、少年部保護者も応援が一段と熱くなる競技です。同道場の応援・同支部の応援・闘いを通じて仲良くなった他支部の選手の応援と大会自体はすごく盛り上がりました。



幼年部は、かわいい体格から繰り出される攻撃で微笑ましい試合が行われる。秋穂道場の宮本祈琉くんが、型・相手のダブル優勝を果たした。小学1年男子の部では初出場の生徒が多い階級だったが、経験豊かな東憲くんがしっかりと優勝を勝ち取った。小学1、2年男女は人数が少なかったため、総当たり戦で競われ唯一の女の子の福岡西支部の榎本りんちゃんが全勝で優勝を果たした。小学3、4年になると、各地区の大会に数多く参加している選手が出てくる。昨年決勝戦を戦った2名が足元をすくわれ敗退する中、広島支部の小峰月碧くんが優勝した。また小学3、4年女子の部では双子の決勝戦が行われた。ほぼ互角の対戦ではあったが、お姉ちゃんになる宇部道場の河村夢莉ちゃんが優勝を果たした。小学5年は山口支部では層の厚い階級でした。この階級は選手稽古等に参加している4名がベスト4に勝ち上がった。結果は昨年と全くおなじ成績で宇部道場の河村悠璃が連覇を果たした。小学6年では試合経験豊富な小野田道場の西田植士くんが他選手を寄せ付けず優勝し型・相手にダブル優勝を果たした。

中学生以上の階級になると、攻撃力もあがってくる反面、攻撃する部位のずれによる負傷をし、ドクターチェックがはいる場面がみられた。小学生とは違い、体格差・力の差がでる階級の為、判定基準のダメージ・有効打・防衛技術などの実力向上が必須となる。中学1年男子の階級は、軽量級の多い山口支部に対して、重量級の多い広島支部との激突が一回戦から行われた。実力に定評のある広島支部の日野翔雅と、中学1年ながら84kgの体格にめぐまれた小野田道場の新良順羽で決勝が行われた。体重差35kgあったが真つ向勝負に打って出た日野選手が、手数で圧倒し優勝を勝ち取った。中学2、3年では身長差21cm 体重差18kgもある広島支部の三浦翔星と沖野純大の同門同士で競われた。体格差を誇る沖野選手が攻め立てるが三浦選手も上手く立ち回り決定打をとることは出来なかったが、攻撃の手を緩めなかった沖野選手が優勝した。中学女子の部では国際親善大会などでも活躍している広島支部の西本あかりが安定した試合運びで昨年に続き連覇を果たした。壮年部ではベテラン組とフレッシュ組が混ざった階級となった。今大会が初参加となる防府道場の辻本隆敏選手がベテラン組を次々に破り決勝進出する。逆サイドからは相手大会で上位組の野坂和典が勝ち上がった。二人の対戦は勢いの差がそのまま出て、そのまま判定で勝利をもぎとり初優勝を果たした。



大会に出ることは、勝ち負け以上に得るものは大きい。試合に出るためには、道場での稽古は当然ながら自主稽古も必要である。当然、稽古をつけてくれる指導員・稽古に付き合ってくれる仲間・家族の協力なしには試合に出ることはできない。また、試合に出る選手の「出場する」という覚悟がなければ、試合に出ることはできない。試合である以上、勝ち負けという厳しい現実が突き付けられる。しかし、道場、稽古、仲間、家族、これらの条件をすべてクリアできた選手達というのは、大きな経験をした「勝ち組」と思う。今大会を見て、そう感じた。大会で成績を収めた選手は、中四国大会・極真祭・国際親善大会などのより上の規模の大会を目指した稽古に励んでもらいたいと思います。